

学校の教育目標 ～仲間と共に伸びる湯ノ里の子～

正しく考える子ども〈創造〉 進んできたえる子ども〈自立〉 よりよいかかわりあう子ども〈共生〉

〈重点教育目標〉 主体的に学び、自信と意欲あふれる湯ノ里の子ども
〈三心教育〉 あいさつする心・がんばる心・しんせつにする心



〈本年度の重点〉 一人一人に寄り添いながら、基礎・基本を大切にする。

経営の方針 コミュニティ・スクールを活用した学校経営の推進

地域と繋がる学校

地域や学校の特色を生かし、関係機関や諸団体との連携のもと、組織的な創造力を最大限に発揮する。

分業と協業

個々の職務と責任を明らかにした上で、組織的に取り組む協働体制をとって推進する。

子どもが育つ学校

課題を克服し、児童の良さを引き出す教育活動を実践する。

子ども目線

児童一人一人の育ちに目を向けた学年・学級経営や分掌経営を行う。

教師が育つ学校

教職員一人一人の力量と持ち味を発揮する協働体制を確立するとともに、授業力・指導力等の専門性を一層高める。

実践と評価・改善

全ての活動は「学校教育目標」達成のためであることを常に意識し、年間指導計画の全体像を俯瞰し推進する。

本年度の取組

- 【1】一人一人に寄り添い、わかる授業を徹底するとともに、自立学習を促し、学力向上を目指す。
- 【2】短期・長期的に目標を立てさせ、自己肯定感、主体的活動の向上を図る。
- 【3】保護者と連携を図り、望ましい生活習慣を確立する。
- 【4】あいさつする心を大切にし、あいさつを「愛さつ」とし、教師が手本を示しながら、広めていく。
- 【5】一人一人の子供の特性を理解し、個に応じた積極的な支援の展開により、確かな成長を促す特別支援教育の充実を図る。
- 【6】自らの命を守る態度や行動を育む健康・安全・食育指導を行う。
- 【7】体力(特に持久力・柔軟性)の向上に努める。
- 【8】児童会、縦割り班活動を充実させ、自主性と協働性を育てる。
- 【9】地域の「人・もの・こと・自然」と豊かに関わる学習を大切にする。
- 【10】1日10分以上の読書等、読書活動の充実を図る。
- 【11】計画的な未然防止策と日常的な児童交流を実施し、「湯ノ里小学校いじめ0」を目指す。
- 【12】夢や希望を持ち、未来を切り拓く豊かな心を育てるために道徳教育を推進する。

本校の目指す姿(本校の特色ある教育活動)

特色1 授業実践を積極的に公開する学校

- 1 町内各校及び管内にも積極的に授業を公開し、常に授改善の視点で教師自身が学びを深める。
- 2 町研サークル授業公開、校内提案授業、校内研究授業、渡複研大会等を中心に進め、教師力、授業力を高める。
- 3 道徳科・ICT活用の授業を積極的に公開する。
- 4 保護者・地域住民等による参観は何時でも受け入れる。
- 5 校長、教頭は、各学級の授業参観を行い、必要な指導助言をする。

特色2 様々な学校間連携を実践する学校

- 1 町内各小学校・中学校・高等学校・幼稚園・保育所との連携を深める。
- 2 指導法の交流や授業参観、児童どうしの交流を積極的に行う。
- 3 教育大函館校及び附属函館小等との研究協力を進める。

特色3 一人一人を大切に育む「特別支援教育」を行う学校

- 1 特別支援教育についての教職員研修を日常的に行う。
- 2 児童一人一人の個性を見極め、適切な支援を実施する。
- 3 特別支援教育コーディネーターを中心に、合理的配慮協力員等、関係機関との連携を積極的に進める。

特色4 地域連携を積極的に展開する学校

- 1 湯ノ里小応援団(学校運営協議会・町内会・老人クラブ・婦人会・同窓会・見守り隊・PTA・子ども会・保育所等)との連携の強化。
- 2 学校の施設設備は、地域にできる限り提供していく。(図書等)
- 3 地域行事には教職員が積極的に関わる等、学校は地域の活性化に積極的に貢献する。

特色5 新しいことに果敢に挑戦する学校

- 1 ICTの充実した環境を活かし、ICT支援協力員とも連携を図りながら、ICT教育の実践を推進する。
- 2 小規模校の利点を活かし、コミュニティ・スクールとしての更なる実践を進めるため、年度途中でも価値ある事業は積極的に取り入れ、斬新な分野・内容・方法も試していく。
- 3 保育所併設複合施設「湯ノ里ゆめ学園」として、相互交流による豊かな心の育成0才～12才までがともに過ごす学び舎としての機能を充実させる。
- 4 小規模特認校制度を活用し、社会に開かれた学校づくりを推進する。